

**CIGS エネルギー環境セミナー
「近自然か多自然か・自然保護の新時代」**

日 時	2019年6月7日（金）16：00－17：30（受付開始15：30）
会 場	キャノングローバル戦略研究所 会議室3 （東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階）
講 師	岸 由二（慶應義塾大学名誉教授）
モデレーター	杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
言 語	日本語

講演概要

都市化や気候変動による生態系の不可逆的変化に直面し、自然保護は大きな転換期に入った。手付かずの自然こそ保全活動の基準と考える従来の常識に対し、「手付かず」の自然は幻想であり、暮らしの足元に広がる大地の現実を踏まえて、安全・魅力・生物多様性豊かな多自然世界を創造してゆくことこそ未来の方向であるとする主張が力を増している。自然保護の現場から新時代を展望する。

プログラム

16:00-16:05	趣旨説明 杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
16:05-16:45	講 演 「近自然か多自然か・自然保護の新時代」 岸 由二（慶應義塾大学名誉教授）
16:45-17:30	質疑応答と討論 モデレーター：杉山 大志

講師紹介

岸 由二（キシ ユウジ）

慶應義塾大学名誉教授。理学博士（生態学）。鶴見川流域・三浦半島小網代等を持ち場として、＜流域思考＞にもとづく防災・多自然都市再生の理論研究ならびに実践活動を推進。

NPO 鶴見川流域ネットワーク、NPO 小網代野外活動調整会議、NPO 鶴見川源流ネットワークの代表理事。

著書に『自然へのまなざし』、『流域圏プランニングの時代』（共編著）、『流域地図の作り方』、『奇跡の自然の守りかた』、訳書に『利己的な遺伝子』（ドーキンス）、『足元の自然からはじめよう』（ソベル）、『自然という幻想』（マリス）など。